

部局名	生涯学習部	所属名	公民館	所属長名	豊田 道生	電話	485-4811
-----	-------	-----	-----	------	-------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3890	事務事業名称	公民館運営事業	短縮コード	経常	3890	臨時					
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	02	公民館費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	社会教育法、公民館の設置及び運営に関する基準、八千代市立公民館の設置及び管理に関する条例、八千代市立公民館管理規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
○事業概要 ①講座 (学級) の開催 ②サークル活動の援助 ③市民の学習活動の支援 (学習スペースの提供, 学習情報の提供)  ○事業を開始したきっかけ 市の人口増加に伴い増大する市民の学習ニーズに対応するため社会教育の専門施設が必要となったことから, 昭和52年に大和田公民館が設置された。続いて1年ごとに阿蘇・高津・勝田台・八千代台・村上・睦の順で設置が進み, 平成元年に八千代台東南, 平成16年に緑が丘公民館が設置され, 現在の市内の公民館数は9館となった。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	02	人間尊重都市をめざして					
高齢者及び外国人人口の増加に伴い、公民館等社会教育施設や生涯学習施設等において、施設利用者・ボランティア活動者が増加しており、駅前3館 (八千代台・八千代台東南・緑が丘) と北部 (阿蘇・睦) の利用者の格差是正の課題がある。また、公民館の主催講座の変革や施設の有料化或いは一般利用者とサークル利用者の施設利用方法等、今後の公民館運営方針の課題及び市長部局への移行に伴う学習施設の在り方等検討すべき時期にある。					大項目 (節)	02	生涯学習					
					中項目	01	生涯学習					
						02	社会教育					
					小項目 (施策)	02	生涯学習機会の拡充					
						01	社会教育活動の推進					
				細項目	03	人的な資源の活用						
01	学習活動の充実											
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円			

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	○学習活動する市民 ○社会教育団体						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: ○各種の講座 (学級) を行う ○サークル活動を援助する (部屋の割振り, バス研修, 作品展示会等) ○市民の学習ニーズに応える為の相談に応じる  ※平成20年度に計画していること: ○各種の講座 (学級) を行う ○サークル活動を援助する (部屋の割振り, バス研修, 作品展示会等) ○市民の学習活動を支援する (学習スペースの提供, 学習情報の提供)						
意図 (何を狙っているのか)	学習活動に参加できない市民を含め, より多くの市民が施設を利用し自己に合った学習活動ができるようにする。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民人数	人	186,650	188,600	188,624	191,000
	指標2	各公民館で活動するサークル	サークル	379	406	386	387
	指標3	各公民館で活動するサークル会員数	人	6,060	6,561	6,302	6,249
活動指標	指標1	各種講座の開催回数	回	645	664	681	684
	指標2	各種講座の参加者数	人	5,875	6,182	14,669	15,600
	指標3						
成果指標	指標1	各種講座の参加者数/市民人数	%	3.15	3.48	7.77	8.16
	指標2	サークル会員数/市民人数	%	3.25	3.28	3.34	3.27
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3890	事務事業名称	公民館運営事業		所属名	公民館	
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績		計画	実績	計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	11,040	12,620	11,579	13,756
	その他	千円				100	
主な事業費の内訳		報酬113、賃金1,969、報償費866、費用弁償92、普通旅費134、消耗品費550、燃料費13、食糧費27、印刷製本費2、修繕料961、通信運搬費2,136、手数料16、保険料275、使用料3,641、備品購入費12、負担金167、公課費71千円		報酬169、賃金2,249、報償費1,386、費用弁償145、普通旅費176、消耗品費550、燃料費21、食糧費27、印刷製本費109、修繕料1,190、通信運搬費2,185、手数料101、保険料274、使用料3,689、備品購入費106、負担金172、公課費71		賃金1,971、報償費1,367、費用弁償115、普通旅費109、消耗品費546、燃料費16、食糧費27、印刷製本費99、修繕料666、通信運搬費2,124、手数料83、保険料224、使用料3,816、負担金154、公課費53	
人件費(B)		千円	124,445.6	124,320.7	124,847	125,112.3	
トータルコスト(A)+(B)		千円	135,485.6	136,940.7	136,426	138,968.3	

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由	
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「生涯学習機会の拡充」・「社会教育活動の推進」を推進するために、公民館運営事業を実施しており、結びついている。	
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある		
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	平成19年度までは、社会教育法に基づいた施策を重点的に行ってきたが、平成20年度の組織改正により、公民館の事業は生涯学習部へ移行した。今後は、より多くの市民の学習支援を目的に生涯学習に重点を置いた施策を行っていく。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	公民館の設置及び運営は社会教育法で定められており、もっぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事業に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助することが禁止されているため、事業の実施主体を全面的に民間事業者に移行する民営化は不可能である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	今までは、施設利用対象者として、主に「社会教育関係団体」を中心に考えていたが、生涯学習を推進するうえで、個人利用を主体とする施設利用者、NPO等の公益的な活動を行っている団体も対象にしていく必要がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある		
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 可能性がない		
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	○講演会は生涯学習振興課、個々の講座は公民館と役割分担を明確にするとともに、連携して事業の実施にあたることで、成果の向上を図る。 ○趣味的な講座はカルチャースクール等の民間事業者、公民館は、啓発的な講座や地域・世代間の連携・交流を促す講座などの教育的意図の高い講座の実施を図る。適切な参加費について検討を行う。 ○「ボランティア講師登録制度」による、指導者の育成を推進、学習情報提供(HP等)、学習相談を含めた総合的な学習環境の整備をし、市民への学習支援体制の強化を図る。	
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用		
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	類似事業名称		
	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し			1
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法	2	実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	ホームページ作成・更新のための環境整備には、一時的な経費増が発生する。		
	<input type="checkbox"/> ない			

コード	3890	事務事業名称	公民館運営事業			所属名	公民館																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			登録サークルや団体が利用できる施設だけではなく、地域住民や子ども達が気軽に集い、文化活動やスポーツ活動、まちづくりへの市民参加活動など多様な領域における地域の拠点として再構築する。この場合、市民参加型の運営方法も検討する。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 生涯学習振興課・生涯学習プラザと連携した講座の開催・学習情報の整備と提供を行うことでより多くの市民への学習支援体制の整備を図る。 <input type="checkbox"/> 利用形態・利用時間・休館日を市民ニーズに沿った改善を行い、利用拡大を図ることにより、費用対効果が上がり経費削減につながる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<input type="checkbox"/> 親子・子供を対象とした講座数の拡大、特に東葉高速鉄道沿線で講座数の拡大が望まれている。 <input type="checkbox"/> 高齢者学級の講座数の拡大が望まれている。 <input type="checkbox"/> 公民館図書室（阿蘇・睦）と図書館（ブックポスト設置等）の連携。	

所属長コメント	平成20年度から市長部局に移行したことにより、社会教育法に定める社会教育施設としてではなく、地方自治法に定める公の施設たる生涯学習施設への用途変更を検討し、学習機会の環境整備を図るため、総合生涯学習プラザを核とした施設間の支援・相互交流・連携のネットワークづくりが急務であると考えます。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	対象・意図の見直しを行い、事業目的を明確にした上で改革・改善を実施していくべき。